

古墳時代	()組	氏
	()番	名

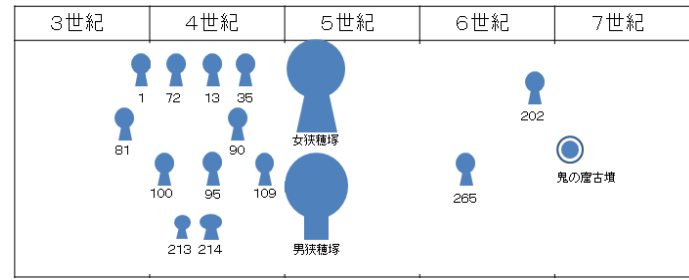
りゅうせいさんたちのクラスは、古墳時代を学習した後、遠足で西都原古墳群に行き、西都原考古博物館を訪れました。その時に聞いた説明やもらった資料をもとに資料1～3を作成し、これらの資料を見ながら下のような話合いをしました。

資料1 「西都原古墳群の古墳の数」

西都原古墳群には、前方後円墳が31基、円墳が279基、方墳が1基ある。

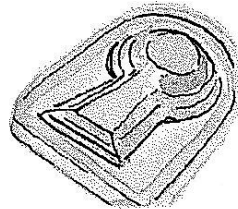
資料2 「西都原の主な古墳年表」

※表中の数字は、古墳に付けられた番号



資料3 「九州最大の前方後円墳」

西都原古墳群にある「女狭穂塚」は、全長が176mもあり、九州最大の前方後円墳である。この古墳を造るために、もし、1日1000人が年間200日働いたとしても、約2年半もかかるという計算結果もある。



ゆきこ： 資料1を見ると、西都原古墳群には、300基以上の古墳があるんだね。どうして、こんなにたくさんあるんだろう。

りゅうせい： 昔、たくさんの豪族が西都原の周辺にいたからだと思うよ。古墳とは、豪族などのお墓だと言われているからね。

そうた： そうだね。それに、資料2を見ると、西都原では **ア** 年以上にわたる長い期間、古墳が造られていることも、きっと関係していると思うよ。

ゆきこ： 資料3を見ると、西都原には全長が176mもある、九州最大の前方後円墳もあるんだね。

りゅうせい： どうして、九州最大のこんなに大きな古墳が、西都原にあるのかな？

そうた： それは、 **イ** だと思うな。

(1) 上の会話文の **ア** に当てはまる数字を下記から選び、まるでかこみましょう。

- A : 200 B : 300 C : 400 D : 500

(2) 上の会話文の **イ** に入る、「大きな古墳が西都原にある理由」を考えて書きましょう。

から。

りゅうせい： 西都原考古博物館の人の話によると、「女狭穂塚」と、その隣の「男狭穂塚」は、どちらも九州最大級の古墳なのだけれど、立ち入りがきびしく制限されていて、自由に調査を行ったりすることができないらしいよ。

先生： そうですね。地中レーダーによる調査は許されたので、この2つの古墳の大きさや形はくわしく分かったのですが、①地面をほったりする調査はできていません。

- (3) 現在は、下線部①のような制限がありますが、もし、地面をほったりする調査が許されたとすると、これらの古墳にまいそされた人物の力の大きさを知るためには、どのようなことを調べるとよいかを書きましょう。

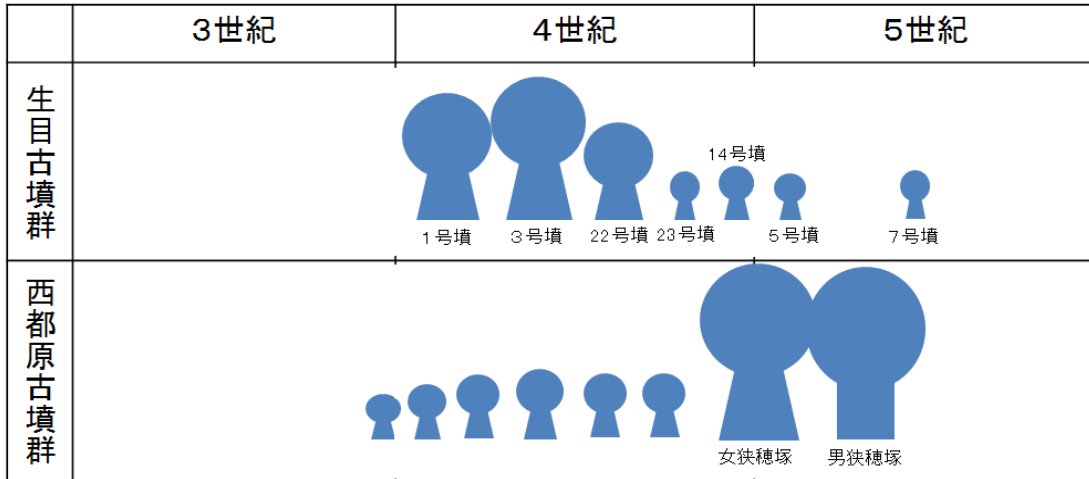
めさほづか 全長176m おさほづか 全長176m



先生： みなさんは、宮崎市にも生目古墳群というのがあるのを知っていますか。この生目古墳群にも、51基の古墳があり、その中の、「1号墳」「3号墳」「22号墳」の3つは全長が100mを超えているんですよ。

資料4は、生目古墳群と西都原古墳群の主な前方後円墳が造られた時期を表した年表です。

資料4 「生目古墳群と西都原古墳群の主な前方後円墳年表」



※宮崎市生目古墳群設置の説明板を参考に作成

- (4) 資料4を見ると、西都原に九州最大の前方後円墳が造られた時期に、生目古墳群の前方後円墳は小さくなっています。

このことから、「生目の豪族の力」と「西都の豪族の力」がどのように変化していったと想像できるか考えて書きましょう。